



校長便り 第20号(令和4年12月6日)

凡事徹底

「当たり前のことが当たり前にできる」を学校教育のあらゆる場面で実践してまいります。生徒・保護者の皆様ご協力をお願い致します。

校長便り20号は、芸術鑑賞の紹介です。

12月5日(月)に芸術鑑賞(組踊:執心鐘入)が本校で実施されました。ご承知の事とは存じますが、組踊が初演されたのは、1719年の尚敬王冊封の宴でした。時の踊奉行の玉城朝薫は中国皇帝の使者をもてなす為、組踊五番を上演。沖縄の文化力の高さを示しました。この時の記録として、冊封使の徐葆光の著作『中山伝信録』には『鐘魔事』と書かれています。琉球の歴史や故事、説話などを取り入れた歌舞劇「組踊」を創り出しました。

沖縄の古語のせりふ、琉球の音楽と踊りで、約300年も演じられてきた「組踊」は、能楽や歌舞伎、人形浄瑠璃文楽と同じように国指定重要無形文化財です。さらに、ユネスコの世界遺産「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」にも記載された古典芸能です。生徒達の鑑賞する態度は大変素晴らしく、芸術鑑賞に浴しました。



子の会の皆様ありがとうございました！！